山弓連会報　さんきゅうれん平13.オ2号　平成13年6月30日発行

山弓連
平成13年
第2号

関東高校大会で県勢大活躍☆☆☆☆

男子団体吉田が二連覇・個人戦で菅谷（桂）V

6月1～3日に、さいたま市大宮弓道場で開催された関東高校大会に山梨代表として、男子は5校、女子4校が出場したが、男子団体戦では、吉田高が、前年に引き続く二連覇の快挙を成し遂げたのをはじめ、個人戦でも、男子4人、女子1人の入賞者を出すという大活躍だった。

戦いの経過は次の通り。

○男子団体予選（24射・上位16校通過）
吉田20　巨摩17　桂16（通過）
上野原15　甲工12（落選）

・男子団体決勝トーナメント（12射）
一回戦　吉田⑩－9鹿沼　巨摩⑧－6桂
二回戦　吉田⑩－8慶志　巨摩6－⑫足利
準決勝　吉田⑫－5鹿沼東
決勝　吉田11(2)－11(1)足利工大付

◎女子団体予選（24射）
白根13　巨摩12、甲府西11、甲商8（落選）

○男子個人戦（8射の予選）
8中6名による1～6位決定の射詰戦と、7中17名による7、8位決定の遠近競射が行われた。

・1～6位決定射詰め
菅谷和喜（桂）○○○○（優勝）
小野勝孝（吉田）○○○×（二位）
宮下裕基（吉田）○○×（五位）

・7、8位決定戦に臨んだ竹上冬樹（巨摩）と、中島大（巨ナ）は惜しくも入賞を逃し、ともに九位とする。

○女子個人戦（8射の予選の結果）
7中9名による3～8位決定の遠近競射となり、深沢琴秋（白根）が四位入賞

○技能優秀賞
男子個人の部で竹上冬樹（巨摩）が受賞

大久保二位・水上三位
東日本女子大会（三段以下の部）

6月3日明治神宮至誠館で、行われた。東日本各地からの参加者が千人を越えるマンモス大会となった。山梨からの参加は21人。大会は、「3段以下」「4段以上」「称号」の3部に分かれ、それぞれ予選2射皆中者が決勝射詰め戦に進むという方式で行われたが、山梨勢の中では、3段以下の部で大久保涼子、水上彩の両選手が快調に的中を続けて勝ち進み、準優勝大久保、オ3位水上と、みごとな成績を残した。ちなみに、水上選手は昨年のこの大会でも3位入賞を果たしている。

合格おめでとう

錬士 望月喜造さん

永年に亘る弓界への貢献、功績が認められて、5月の日弓連審議会で推薦決定。座光寺門下で、師匠直伝の絶妙な離れを受けて、若い頃（も、あったのです）の的中率は、まさに驚異的だった。その後、西八代支部長、市川大門町営道場管理者等を歴任して後進の指導にも努力した。大正11年生まれ79才。いつまでもお元気で。

錬士 広瀬千鶴子さん

同じく5月の審議会で推薦決定した。永年の努力精進の成果が報われた。一時、家庭の事情や健康上の理由から心ならずも中断していた時期もあったが、すっかり健康も回復し、今年は全国ねんりんピック大会にも選手として参加することになっている。婦人部リーダーとしても活躍を祈る。塩山市64才

錬士 中込実さん

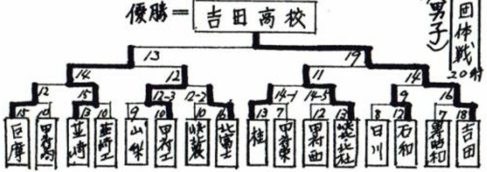
5月27日の大津臨時審査で、みごと合格。しかも、錬士挑戦一回目での合格という快挙。各大会での彼の的中のすばらしさは、誰でも知っているが、審査合格も的中率の方もみごとであった。高校生時代からずっと団体選手。数々の栄冠を手にしてきた。益々研鑽を重ね、いっそうの発展を期待している。31才。

高校総体 吉田（男）・上野原（女）が優勝

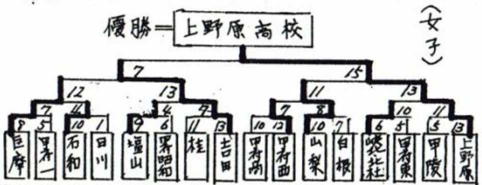
5月9～11日開催。予選40射で上位16校を選び、決勝はトーナメント戦。男女とも郡内勢が制した。

団体戦 20射

（男子）



（女子）



個人戦 8射

別	男										女									
順	1	2	3	4	4	4	4	4	4	10	1	2	3	4	4	4	4	8	9	10
選手	新海秀人（峡北）	白向一希（甲工）	杉山貴范（巨ナ）	三井仁（韮工）	渡辺諒（吉田）	羽田信（吉田）	島山昌英（石和）	志水裕（昭和）	山本光気（韮崎）	菅谷和喜（桂）	山口知也（上野原）	黒部絵理（上野原）	深沢琴秋（白根）	河上良子（昭和）	加賀美恵（吉田）	河西未緒（巨ナ）	松田友美（巨ナ）	武井知子（甲工）	日原早弥香（石和）	渡辺恵理香（桂）
的中	8	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	6	6	6	6	6	5	5	5

中学選手権大会
櫛形（男）と甲府南が優勝

中学校選手権大会6月10日、小瀬武道館で開催。団体戦36射、個人戦12射の競技を行い、その結果、入賞は次の通り。

別	団体						個人					
	男			女			男			女		
順	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三
チーム・選手	櫛形A（鈴木・野田・宮川）	増穂B（深沢・啓・深沢）	櫛形B（矢崎・穂坂・河野）	甲府南A（依田・若尾・伊藤）	石和A（三枝・遠藤・中山）	石和B（山本・三浦・筒井）	野田昌也（櫛形）	鈴木利章（櫛形）	矢崎正文（櫛形）	伊藤わかな（甲府南）	伊藤友夏（下吉田）	中山真由美（石和）
的中	19	13	13	14	12	9	8	8	6	7	5	5

インターハイ代表は吉田（男）と巨摩（女）

6月23～24日、インターハイに出場する県代表を決める予選会が開かれた。一次予選40射で上位8校を選び、更に二次予選20射で、一・二次合計的中数により4校を選んで、決勝は、4校リーグ戦という方式。

男

校名／対戦校	吉田	巨ナ	桂	北杜
（一次二次）	(53)	(40)	(41)	(43)
吉田	/	11	13	13
巨ナ	⑱	/	11	10
桂	⑯	⑭	/	(13/4)
北杜	⑱	⑭	13/3	/
勝数	③	2	0	1

女

校名／対戦校	吉田	日川	巨摩	上野原
（一次二次）	(37)	(25)	(29)	(30)
吉田	/	⑫	(11/6)	⑫
日川	10	/	⑫	⑬
巨摩	11/3	11	/	13
上野原	9	6	⑮	/
勝数	0	1	③	2

個人戦は、一次予選8射で上位10名を選び、二次8射との合計的中数により男女各2名を選出。（但し、団体戦出場決定者を除く）

順	男子	的中	女子	的中
1	小野勝孝（吉田）	15	井尻朋子（日川）	14
2	菅谷和喜（桂）	15	小川くみこ（巨ナ）	13
3	宮下裕基（吉田）	15	河上良子（昭和）	13
4	佐野雄平（韮崎）	14	黒部絵理（上野原）	12
4	羽田信（吉田）	14	小林博子（桂）	12
4	島山昌英（石和）	14	加賀美恵（吉田）	12
7	渡辺剛（北杜）	13	上条恵子（上野原）	11
8	中島大（巨ナ）	13	柏木瞳（吉田）	11
9	渡辺諒（吉田）	13	渡辺めぐみ（吉田）	9
10	渡辺勇大（巨ナ）	13	後藤悠子（白根）	6

◎インターハイ県代表は～

○男子団体　吉田高校
○女子団体　巨摩高校
○男子個人　菅谷和喜（桂高）　佐野雄平（韮崎高）
○女子個人　井尻朋子（日川高）　小川くみこ（巨ナ高）

連合審査

5月13日小瀬武道館で施行した関東連合審査。受審70名中、合格者5名。合格率7%という難関を、新藤康平さん（甲府）が、みごと突破して五段合格。オメデトウ。

あとがき。。。

●書き終えてよく見たら、今号は、まるで中高校生特集のようになっていて、オトナの影が薄くなってしまいました。しかし、考えてみれば彼らこそ将来の山弓連を背負って立つ層になる若者です。この中から金の卵を見つけ出して下さい。

●ジメジメ梅雨から一転して「暑い」「暑い」の季節になりました。この原稿を書いていても、汗でインクが汚れて苦心サンタン。しかしこの暑さの中で、これから国体予選、全日本予選があるので選手は猛練習に励んでいます。暑さにも負けないで。